

調査票番号

## 令和 7 年度 福島県政世論調査 調 査 票

### 1 復興等に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問 1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取組
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取組
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償に関する情報
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 廃炉に向けた取組や現状に関する情報
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については、主に何で入手していますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新聞
- 2 テレビ・ラジオのニュースなど
- 3 インターネット（行政以外のページ）
- 4 インターネット（県のホームページ・フェイスブック・エックスなど）
- 5 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）
- 6 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）
- 7 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど）
- 8 行政以外の印刷物
- 9 口コミ
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )



## 2 安全で安心な県づくりについて

福島県では、安全で安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問5 次のア～チの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

選択肢 1～5 の中でそれぞれあてはまるもの 1つに○ をつけてください。

(注) 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。

・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。

・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

### 【選択肢】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 はい              | 4 どちらかといえば「いいえ」 |
| 2 どちらかといえば「はい」    | 5 いいえ           |
| 3 どちらともいえない・該当しない |                 |

ア	あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
イ	あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思えますか。	1	2	3	4	5
ウ	あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
エ	あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
オ	現在、あなたの暮らす地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思えますか。	1	2	3	4	5
カ	あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思えますか。	1	2	3	4	5
キ	あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思えますか。	1	2	3	4	5
ク	あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
ケ	あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
コ	あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思えますか。	1	2	3	4	5
サ	あなたは、日ごろ、放射線の影響が気になりますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたは、「福島県防災アプリ」を活用していますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたは、災害時の取るべき行動について考える「マイ避難」の取組を知っていますか。	1	2	3	4	5
ソ	「福島県防災アプリ」や「ふくしまマイ避難ノート」を活用するなどして、自分（自宅）の避難計画を作成していますか。	1	2	3	4	5
タ	あなたは、県民の生命を守るため、災害に強い県づくりを目指す「福島県防災基本条例」を知っていますか。	1	2	3	4	5
チ	あなたが暮らしている中で、消防団の活動や存在を身近に感じることはありますか。	1	2	3	4	5

### 3 福島県の総合計画について

福島県では、県が目指すふくしまの将来の姿や、その実現に向けた政策や施策を示した総合計画（県の行政運営上の最上位計画）を策定し、令和4年度から取組をスタートしています。

県民の皆さんの、計画の取組に関する考えをお伺いし、総合計画の進行管理や施策の見直しに活用してまいります。

**問6** 次のア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
 選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

（注）平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。

- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
- ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

**【選択肢】**

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 はい              | 4 どちらかといえば「いいえ」 |
| 2 どちらかといえば「はい」    | 5 いいえ           |
| 3 どちらともいえない・該当しない |                 |

ア あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
エ あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
オ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
カ あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域では、性別や年齢、国籍、障がいの有無など人々の多様性を理解した社会づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ク あなたの暮らす地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

サ	県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。	1	2	3	4	5
ソ	あなたは、福島県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
タ	(ソで「4」または「5」と回答した方にお尋ねします。 ソで「いいえ」と回答した理由について、 <u>あてはまるものにいくつでも○をつけてください。</u> 1 福島県の豊かな自然が保全されていない 2 福島県の美しい景観が保全されていない 3 傷病鳥獣の保護や、有害鳥獣対策が十分ではない	1	2	3		
チ	あなたは、日ごろ、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5
ツ	あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。	1	2	3	4	5
テ	あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか (鑑賞を含む)。	1	2	3	4	5
ト	県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ナ	あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ニ	あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー（太陽光など）を利用したいと思いますか（既に利用している人を含む）。	1	2	3	4	5
ヌ	あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5
ネ	あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。	1	2	3	4	5

## 4 福島イノベーション・コースト構想について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想※を推進し、浜通り地域等の産業基盤の再生に取り組んでおります。各取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

### ※【参考】「福島イノベーション・コースト構想」とは

福島イノベーション・コースト構想(福島・国際研究産業都市構想)とは、東日本大震災と原子力災害によって大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復するため、この地域を新たな産業が次々と生まれる場所にする 것을目指し、平成26年にとりまとめられた国家プロジェクトです。

令和5年4月1日には、構想を更に発展させ、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力や産業競争力の強化に貢献する、「創造的復興の中核拠点」として、福島国際研究教育機構(F-REI)が国によって浪江町に設立されました。

本構想を実現するために、以下の分野を中心に取り組んでいます。

- ・原子力発電所の廃炉に向けた取組  
廃炉国際共同研究センター(富岡町)での研究開発、地元企業を廃炉産業へ参入しやすくするための取組など
- ・ロボット産業を集積・活性化する取組  
福島ロボットテストフィールド(南相馬市)を活用したロボット・ドローン等の実証実験など
- ・新エネルギーの利用促進や、環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組  
福島水素エネルギー研究フィールド(浪江町)での研究開発や環境負荷が低い製造技術の開発など
- ・農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組  
自動運転トラクター、ドローンによる農薬散布などの先端技術を活用した農業など
- ・医療関連で利用できる技術開発支援や関連企業の集積を目指す取組  
健康状態の分析・確認ができる衣類や介護現場の負担を軽減する機器の開発など
- ・航空宇宙産業の育成・集積に向けた取組  
空飛ぶクルマの開発や宇宙での活用を想定した技術開発支援など
- ・子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組  
ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)での教育活動、大学や地元企業等の力を借りた特色ある教育プログラムなど
- ・福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓等を広める取組  
イベントやインターネット(ホームページ、SNSなど)での情報発信、ロボット、エネルギー、農林水産業などF-REIが行う5分野の研究開発の紹介、産学官の交流イベントや若者世代へのセミナーの開催、東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)の運営など

問7 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
- 2 福島ロボットテストフィールドの利活用促進など、ロボット産業を集積・活性化する取組
- 3 新エネルギーの利用促進や環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組
- 4 農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組
- 5 医療関連で利用できる技術開発支援や関連企業の集積を目指す取組
- 6 航空宇宙産業の育成・集積に向けた取組
- 7 将来的に福島イノベーション・コースト構想を支える、子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
- 8 東日本大震災・原子力災害伝承館等による原子力災害等の教訓等を広める取組
- 9 福島国際研究教育機構(F-REI)による研究開発や産業化、人材育成などの取組
- 10 特にない
- 11 その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問8 今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
- 2 福島ロボットテストフィールドの利活用促進など、ロボット産業を集積・活性化する取組
- 3 新エネルギーの利用促進や環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組
- 4 農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組
- 5 医療関連で利用できる技術開発支援や関連企業の集積を目指す取組
- 6 航空宇宙産業の育成・集積に向けた取組
- 7 将来的に福島イノベーション・コースト構想を支える、子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
- 8 東日本大震災・原子力災害伝承館等による原子力災害等の教訓等を広める取組
- 9 福島国際研究教育機構（F-REI）による研究開発や産業化、人材育成などと連携した取組
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問9 今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること
- 2 企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと
- 3 地域企業の技術力や経営力を高めること
- 4 産学官（民間企業、大学などの教育機関、行政機関）や企業同士が連携すること
- 5 浜通り地域等での取組に関心のある人を呼び込むこと
- 6 人材の育成・確保（学生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼び込みなど）をすること
- 7 福島イノベーション・コースト構想についての情報を発信すること
- 8 福島国際研究教育機構（F-REI）と地域の産学官との広域的なネットワークを形成すること
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

## 5 県内のプロスポーツチームについて

福島県では、地域活性化を図るため、県内のプロスポーツチーム\*と連携し、各種事業を展開しております。

県内のプロスポーツチームに対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

### ※ 県内のプロスポーツチーム

福島ユナイテッドFC（サッカー）、いわきFC（サッカー）、  
福島レッドホープス（野球）、福島ファイヤーボンズ（バスケットボール）、  
福島デンソーエアリービーズ（バレーボール）

問10 県内のプロスポーツチームについて伺います。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった
- 2 県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に関心はない
- 3 県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない→（問11へ）
- 4 県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある→（問12へ）

（問10で「3」と回答した方にお尋ねします。）

問11 試合を現地で観戦しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 試合会場が遠い（交通アクセスが悪い）
- 2 いつ試合をやっているのかが、分からない
- 3 チケットが高い
- 4 チケットの入手方法など、調べるのが面倒
- 5 選手をよく知らない
- 6 時間がない
- 7 わざわざ観に行くほどの試合内容ではない（盛り上がらない）
- 8 子どもを連れて行くのが大変

（問10で「4」と回答した方にお尋ねします。）

問12 試合を現地で観戦した理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家族や友人、知人に誘われた
- 2 テレビでチームに関する情報を目にして観戦したくなった
- 3 SNSやYouTubeでチームに関する情報を目にして観戦したくなった
- 4 チームや選手と直接交流する機会があり観戦したくなった
- 5 会場で行われる試合以外のイベント（子ども向けイベントなど）が魅力的だった
- 6 応援したいチームがあった（できた）
- 7 周囲で話題になっていた
- 8 街中でポスターやチラシなどを見た
- 9 余暇時間を楽しむ場所を探していた
- 10 無料招待券や割引券を入手した

## 6 チャレンジふくしま県民運動について

福島県では、県民の皆さん一人一人が身近なところから心身の健康へ向けて取り組むことで、人も地域も笑顔で元気な福島の実現につなげる「チャレンジふくしま県民運動」を、平成28年度から展開しています。

健康づくりに対する県民の皆さんの意識や実践の現状を、今後の施策に役立ててまいります。

問13 「チャレンジふくしま県民運動」について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 知っている	
2 聞いたことがある	
3 名前を聞いたことがない	
4 その他（具体的に：	）

問14 例えば、減塩、ウォーキング（ウォークビズ<sup>※</sup>含む）など軽い運動、サークル活動のような心身の健康づくりを最近行っていますか。  
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「ウォークビズ」とは  
健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

1 実践している	} (問16へ)
2 少しは実践している	
3 実践していない	→ (問15へ)

(問14で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問15 健康づくりを実践していない理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 仕事や家事等で、実践する時間がない	5 お金が掛かる
2 興味のある取組がない	6 健康づくりに興味・関心がない
3 実践する場所・施設がない	7 その他
4 健康づくりに関する情報がない	(具体的に：
	）

(全員にお尋ねします。)

問16 あなたは、この1年間にどの程度の頻度で運動（ウォーキング等の軽い運動含む）やスポーツを実施されましたか。  
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 週に5日以上	5 月に1～3日
2 週に3日以上	6 3か月に1～2日
3 週に2日以上	7 年に1～3日
4 週に1日以上	8 実施していない

## 7 自転車の安全利用について

福島県では、自転車の安全で適正な利用を促進し、歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、県民が安全に安心して暮らすことができる社会を実現するため、令和3年10月に「福島県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「自転車条例」といいます）」を制定いたしました。

県民の皆様の自転車の利用状況等をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問17 あなたは、普段の生活で自転車をどのくらい利用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ほぼ毎日（週に4～7日）利用している	} (問18・問19へ)
2 週に2、3日程度利用している	
3 週に1日程度利用している	
4 月に1日程度利用している	
5 年に数日程度利用している	
6 利用していない	→ (問21へ)

(問17で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問18 令和4年4月1日から自転車条例により自転車損害賠償責任保険等※（以下「自転車保険」といいます）への加入が義務化されましたが、あなたは、自転車保険に加入していますか（自転車専用の保険だけでなく、自動車任意保険や火災保険等で補償される場合も含みます）。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「自転車損害賠償責任保険等」とは  
自転車の運行によって他人の生命又は身体が害された場合における損害を填補することができる保険又は共済のことをいいます。

1 加入している
2 加入していない
3 わからない

(問17で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問19 あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 いつも着用している	} (問21へ)
2 ときどき着用している	
3 着用していない	→ (問20へ)

(問19で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問20 あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 値段が高いから	6 特に危険を感じないから
2 見た目が悪いから	7 ヘルメットの着用で怪我を防げるのか疑問だから
3 重い、蒸れるなど不快だから	8 その他
4 髪型が崩れるのが嫌だから	(具体的に： )
5 移動先での保管・持ち運びが面倒だから	

(全員にお尋ねします。)

**問 2 1** あなたは、道路交通法が改正され、令和 5 年 4 月 1 日から全ての自転車利用者の方を対象にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていますか。  
あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- |         |             |
|---------|-------------|
| 1 知っている | → (問 2 2 へ) |
| 2 知らない  | → (問 2 3 へ) |

(問 2 1 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

**問 2 2** あなたは、自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことを何で知りましたか。  
あてはまるものに いくつでも○をつけてください。

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| 1 県・市町村の広報誌      | 6 新聞      |
| 2 県・市町村のホームページ   | 7 テレビ・ラジオ |
| 3 県・市町村のチラシ・ポスター | 8 SNS     |
| 4 保険会社のチラシ       | 9 その他     |
| 5 自転車店の店頭        | (具体的に : ) |

(全員にお尋ねします。)

**問 2 3** 自転車の交通安全に関して、危険を感じたことや日頃感じていることなどご意見がありましたらお聞かせください。

(自由記載)

※ 記入例 音楽を聴きながらの運転、傘さし運転、二台以上での並走等を危険に感じた  
具体的に :

Free text area for responses to Question 2.3, enclosed in large parentheses.

## 8 ユニバーサルデザインについて

福島県では、すべての人が安全・安心で快適に過ごすことのできる社会の形成を目指し、ユニバーサルデザイン※の考え方を推進しています。

県民の皆様の認知度及び県民の皆様の求める推進方法等をお伺いし、今後の各種施策に役立ててまいります。

※【参考】「ユニバーサルデザイン」とは

はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、安全で安心して利用しやすいように、建物、製品、環境などを計画、設計する考え方のことをいいます。

問24 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている
- 2 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない
- 4 言葉自体知らない

問25 あなたは、日常で使う製品、身近な施設（官公共施設・病院・スーパー・駅舎・歩道など）、バスなどの乗り物について、10年前と比べて、誰もが使いやすくなっていると感じますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 ややそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない

問26 あなたが、県内で、ユニバーサルデザインの考え方を導入することが必要だと考えるのはどれですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 交通機関（バス、鉄道、タクシー）
- 2 道路
- 3 公共・公益施設
- 4 住宅
- 5 商業施設、商店街
- 6 製品開発
- 7 サービスや情報の提供
- 8 インターネットによるやりとりなどの情報技術
- 9 教育（共に学ぶ環境づくり）
- 10 防災、災害対策
- 11 人々の意識や、こころのあり方
- 12 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問27 あなたは、過去1年間に高齢者や障がいのある方、妊娠している方、幼い子どもを連れた方、外国の方等に対して、次のような気配りに取り組んだことがありますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 おもいやり駐車場に自動車等を止めない
- 2 点字ブロックの上や狭い通路に自転車等を止めない
- 3 エレベーターを車いすやベビーカー等の使用者に譲る
- 4 バリアフリートイレを障がいのある方や幼い子ども連れの方に譲る
- 5 電車やバスなどで高齢者や障がいのある方、幼い子ども、妊娠している方などに席を譲る
- 6 困っている高齢者や障がいのある方、外国人等を見かけた際に声をかける
- 7 他者に対して差別や中傷する発言をしない
- 8 取り組んだことはない
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 9 地域の医療について

福島県では、医療計画にもとづき、地域の医療提供体制の確保・充実のための取組を行っています。県民の皆さんに地域の医療についてどのように思っているか、どのように行動されているかをお伺いし、今後の医療施策に役立ててまいります。

問28 あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                           |   |
|---|---------------------------|---|
| 1 | いつも決まってみてもらおう病院・診療所へ行く    |   |
| 2 | 身近な診療所（医院・クリニック）へ行く       |   |
| 3 | 大学病院や総合病院などのできるだけ大きな病院へ行く |   |
| 4 | わからない                     |   |
| 5 | その他（具体的に：                 | ） |

問29 あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師（かかりつけ医）がいますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                        |   |
|---|------------------------|---|
| 1 | いる                     |   |
| 2 | いない（病気をしない、または必要を感じない） |   |
| 3 | いない（その都度都合の良い医師にかかる）   |   |
| 4 | いない（適当なかかりつけ医が身近にいない）  |   |
| 5 | いない（その他具体的に：           | ） |

問30 あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。  
知っているものすべてに○をつけてください。

- |   |                           |  |
|---|---------------------------|--|
| 1 | 福島県子ども救急電話相談（#8000）       |  |
| 2 | 福島県救急電話相談（#7119）          |  |
| 3 | 福島県医療相談センター（024-522-4546） |  |
| 4 | 福島県医療計画                   |  |
| 5 | 知っているものはない                |  |

問31 あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |   |           |   |                    |
|---|-----------|---|--------------------|
| 1 | 保健医療専門誌   | 6 | インターネット（医療情報ネット除く） |
| 2 | 健康関連の本や雑誌 | 7 | 県や市町村の広報誌          |
| 3 | テレビ       | 8 | 友人・知人              |
| 4 | ラジオ       | 9 | その他                |
| 5 | 医療情報ネット   |   | （具体的に：             |
|   |           |   | ）                  |

問32 あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何か。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |    |                               |   |
|----|-------------------------------|---|
| 1  | 病気の症状や予防・治療に関する情報             |   |
| 2  | 診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報     |   |
| 3  | 医療機関の診療日・診療時間に関する情報           |   |
| 4  | 医療機関の医療機器保有状況に関する情報           |   |
| 5  | 医療機関が連携している医療施設や介護施設に関する情報    |   |
| 6  | 薬の効能、副作用や服用方法に関する情報           |   |
| 7  | 急病人やけが人に対する応急手当に関する情報         |   |
| 8  | 訪問診療・看護やヘルパーなどの在宅ケアサービスに関する情報 |   |
| 9  | リハビリテーションに関する情報               |   |
| 10 | 特にない                          |   |
| 11 | その他（具体的に：                     | ） |

## 10 キャッシュレス決済の利用状況について

福島県では、県内のキャッシュレス取引を促進させ、中小企業者等の経営力強化と消費者の利便性を図るため、各種事業を展開しております。

県民の皆様のキャッシュレス決済の利用状況をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問33 普段の生活で、キャッシュレス決済をどの程度利用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                          |   |
|---|--------------------------|---|
| 1 | ほとんどの支払いがキャッシュレス決済       |   |
| 2 | 現金払いもあるが、キャッシュレス決済のほうが多い |   |
| 3 | キャッシュレス決済と現金払いおおよそ半々     |   |
| 4 | キャッシュレス決済も使うが、現金払いのほうが多い |   |
| 5 | 現金払いのみ                   |   |
| 6 | その他（具体的に：                | ) |

問34 利用しているキャッシュレス決済はどれですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                             |   |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | クレジットカード                    |   |
| 2 | デビットカード                     |   |
| 3 | QRコード決済（PayPay、auPAY、d払いなど） |   |
| 4 | WAON                        |   |
| 5 | nanaco                      |   |
| 6 | 交通系電子マネー（Suicaなど）           |   |
| 7 | キャッシュレス決済は利用しない             |   |
| 8 | その他（具体的に：                   | ) |

問35 キャッシュレス決済を利用する理由は次のうちどれですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
| 1 | 支払いが簡単、早い             |   |
| 2 | 現金を持ち歩かないで済む          |   |
| 3 | キャンペーンやポイントなどの特典が得られる |   |
| 4 | 現金に触れないため衛生的          |   |
| 5 | 急な出費でも対応できる           |   |
| 6 | キャッシュレス決済は利用しない       |   |
| 7 | その他（具体的に：             | ) |

問36 店舗等でキャッシュレス決済が利用できないため、商品購入等をあきらめたことはありますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                 |  |
|---|-----------------|--|
| 1 | ある              |  |
| 2 | ない              |  |
| 3 | キャッシュレス決済は利用しない |  |

## 11 農林水産業について

福島県の農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

**問37** 普段、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 国産の食材を積極的に購入する
- 2 地元産の食材を積極的に購入する
- 3 一日の食事バランスを考えた食生活を実践する
- 4 食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす
- 5 環境に配慮して生産された農産物（有機農産物や特別栽培農産物<sup>※</sup>等）を積極的に購入する
- 6 食品の安全性について知識を持つ
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

※【参考】「有機農産物・特別栽培農産物」とは

どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。

有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの。特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以下に減らして栽培されたもののこと。

**問38** あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 地域の人々が働き、生活する場
- 2 農林水産物など食料を生産する場
- 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
- 4 農林漁業の作業体験等を通じた学びの場
- 5 雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割
- 6 昔から伝わる伝統や文化を守っていく場
- 7 余暇やレジャーなどで滞在・体験する場
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

## 12 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

**問39** 現在あなたが住んでいる地域の治安は良いと思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1  良い	}	(問40へ)
2  悪い		
3  変わらない	}	(問41へ)
4  わからない		

(問39で「1」又は「2」とお答えの方にお尋ねします。)

**問40** 問39で治安が「良い」又は「悪い」と思う理由は何ですか。  
どちらかの枠の中から、あてはまるもの3つまで○をつけてください。

【良いと思った方】

【悪いと思った方】



※両方の枠を選ぶことはできません。



1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない
2 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をよく見かける
3 パトカーや警察官の姿をよく見かける
4 隣近所とのコミュニケーションが図られている
5 犯罪発生ニュース等を聞かなくなった
6 地域住民の防犯意識が高まった
7 その他(具体的に: )

8 犯罪の被害に遭った人が身近にいる
9 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない
10 パトカーや警察官の姿をあまり見かけない
11 隣近所とのコミュニケーションが図られていない
12 犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった
13 地域住民の防犯意識が希薄になった
14 その他(具体的に: )

(全員にお尋ねします。)

**問41** 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 各種防犯研修会の開催	6 ラジオ放送による広報
2 警察官の訪問による具体的な助言活動	7 新聞への定期的な掲載
3 防犯広報紙の配布	8 携帯端末等へのメール配信
4 県警察ホームページへの掲載	9 アプリによる情報発信
5 テレビ放映による広報	10 わからない
	11 その他 (具体的に: )

問 4 2 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 自分の住んでいる地域の犯罪情報	7 多発している犯罪の手口や傾向
2 市町村単位の犯罪情報	8 なりすまし詐欺に関する情報
3 福島県全体の犯罪情報	9 来日外国人の犯罪情報
4 全国の犯罪傾向	10 インターネットに関する犯罪情報
5 学校や保育施設周辺の犯罪情報	11 防犯設備・防犯グッズ等の情報
6 少年非行の現状	12 その他（具体的に： )

問 4 3 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと  
考えますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 犯罪の検挙活動	8 犯罪・事故被害者に対する支援
2 犯罪の抑止活動	9 事件・事故に関する情報発信
3 パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。)	10 警察安全相談の充実
4 巡回連絡（家庭等の訪問活動）	11 意見・要望への的確な対応
5 緊急事案に対する迅速な対応	12 防犯・交通ボランティア等の結成、 活動への支援
6 交通違反の取締り活動	13 特にない
7 交通事故の抑止活動	14 その他（具体的に： )

問 4 4 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は  
何ですか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
2 空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪
3 こどもに対する声掛けやいたずら
4 不同意性交、不同意わいせつ、痴漢等の性的犯罪
5 高齢者を狙ったなりすまし詐欺
6 少年犯罪
7 児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪
8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪、児 童・高齢者・障がい者虐待
9 ヤミ金融事犯や悪質商法
10 インターネットを利用したサイバー犯罪
11 ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通 法令違反
12 暴力団等による組織犯罪
13 外国人犯罪グループによる犯罪
14 公務員等による汚職事件
15 覚醒剤、大麻及び麻薬の乱用、売買などの薬物犯罪
16 不法投棄などの環境犯罪
17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
19 特にない
20 その他（具体的に： )

問45 震災から14年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 夜の町を歩くのが怖くなった
- 2 けんか、暴力沙汰を見かけるようになった
- 3 身近に交通事故の発生がある
- 4 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった
- 5 身近に廃棄物等の不法投棄がある
- 6 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする
- 7 なりすまし詐欺に不安を感じる
- 8 特に不安を感じるものはない
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

～ あなたご自身についてお答えください ～

Q1 あなたの性別（自認する性）をお知らせください。

- 1 男
- 2 女

Q2 あなたの満年齢をお知らせください。（令和7年7月1日現在）

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 1 15～19歳 | 5 35～39歳 | 9 55～59歳  |
| 2 20～24歳 | 6 40～44歳 | 10 60～64歳 |
| 3 25～29歳 | 7 45～49歳 | 11 65～69歳 |
| 4 30～34歳 | 8 50～54歳 | 12 70歳以上  |

Q3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。  
なお、複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください

- 1 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者）
- 2 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者）
- 3 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者）
- 4 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上）
- 5 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）
- 6 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
- 7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・派遣・嘱託など
- 8 専業主婦・主夫
- 9 学生・生徒
- 10 無職
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

Q4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

（震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

\_\_\_\_\_（市・町・村）

**お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。**

※同封の返信用封筒に入れ、令和7年7月9日（水）までに切手を貼らずに投函願います。

## 令和 7 年度福島県政世論調査 御協力をお願い

県民の皆様には、日頃から県政に対し御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東日本大震災と原発事故から 14 年余りが経過する中、福島の復興は、県民の皆様の懸命な御努力により着実に前進しております。

一方で、震災と原発事故という前例のない複合災害からの復興は、いまだ途上にあり、多くの困難な課題を抱えております。このため、県としましては、復興の加速化、地方創生の更なる推進等に向け、全力で取組を進めているところであります。

この調査は、県が取り組んでいる「福島県総合計画」を始めとする各種計画や施策について、皆様の認知度や関心度、満足度、優先度などをお尋ねし、その結果を今後のより良い県政運営に役立てる基礎資料とするため、毎年実施しているものです。

皆様には御多忙のところ恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、是非とも御協力くださいますようお願いいたします。

令和 7 年 6 月

県民の皆様へ

福島県知事 内堀 雅雄

- 本調査は、福島県にお住まいの 15 歳以上の方々の中から、2,000 人を無作為に選び、郵送された調査票等によりお答えいただく方法で実施します。
- このたび、多くの県民の皆様の中から、あなた様を回答者のお一人に選ばせていただきました。
- お答えいただきましたご意見やお名前等の個人情報公表されることは一切ございません。
- 今回の調査では、今後の県の施策に役立てるために、12 のテーマについてお尋ねします。
- 調査の集計結果は、令和 7 年 11 月上旬頃に県のホームページにて公表する予定です。
- 今回の調査は、福島県が以下の業者に委託して実施しております。  
《委託業者》株式会社スピードリサーチ  
新潟市東区小金町 1 丁目 7-1 NTT 小金ビル
- 調査に関してのお問合せ先  
福島県 総務部 県民広聴室  
電話：024-521-7013 ※8:30~17:15（土日・祝日を除く）  
E-mail：koucho@pref.fukushima.lg.jp

（裏面あり）

## ～ご回答にあたってのお願い～

- ◇ 原則として封筒宛名のご本人様がお答えください。
- ◇ 別添の調査票に直接、黒又は青色のボールペンや鉛筆等で記入してください。  
なお、調査票に記入する回答方法の他に、パソコンやスマートフォン等を使ったオンラインによる回答も可能ですので、オンライン回答を希望される方は、下記を参照願います。  
(注) 別添調査票とオンラインとの双方による重複回答はできません。
- ◇ ご回答は、  
「あてはまるもの 1つに○を」  
「あてはまるものに 3つまで○を」  
「あてはまるものに いくつでも○を」  
などの質問文の指示にあわせて記入してください。
- ◇ ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに 令和7年7月9日(水) までに、郵便ポストに投函してください。
- ◇ 調査票や返信用封筒へは、お名前・住所の記入は不要です。

### 【オンライン回答を希望される方へ】

パソコンやスマートフォン等を使ったオンライン回答を希望される方は、以下のURL又はQRコードから回答用ホームページへアクセスしてください。  
なお、回答(送信)期限は、令和7年7月9日(水) までとなります。

URL : <https://questant.jp/q/fksyoron-r7>



料金別納  
郵便

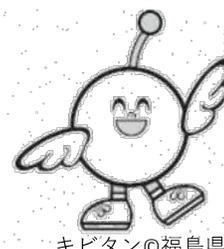
## 福島県政世論調査 調査票在中

あなたは、調査対象2,000人のおひとりに選ばれました。  
調査に御協力をお願いします。

回答期限：令和7年7月9日（水）

- ◆ このアンケート調査は、県民の皆様が、県政についてどのように感じ、また、お考えになっているかをお聞きするものです。
  - ◆ 回答はすべて統計的に処理され、個人のプライバシーが外部に漏れることは決してありません。ありのままをお答えください。
  - ◆ ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、令和7年7月9日（水）までに郵便ポストへ投函いただくか、インターネットで回答いただけますようお願いします。
- ★ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 福島県 総務部 県民広聴室  
〒960-8670 福島市杉妻町2-16  
電話（024）521-7013（直通）  
※8:30～17:15（土日・祝日を除く）



キビタン©福島県

9 6 0 8 6 8 0



料金受取人払郵便



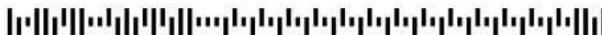
差出有効期間  
令和7年10月  
31日まで

〔切手を貼らずに  
お出しください〕

福島県政世論調査  
調査票在中

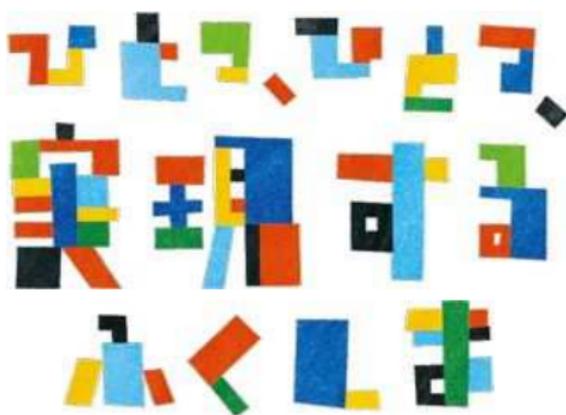
福島県 総務部 県民広聴室 行

福島県福島市杉妻町2番16号



(ご協力ありがとうございます。)

郵便はがき



## 令和7年度 福島県政世論調査 ご協力のお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先日、お送りさせていただきました「福島県政世論調査」につきましてのご協力のお願いです。

県では、皆様の貴重なご意見を県政に反映させてまいりたいと考えておりますので、ご多忙の折と存じますが、令和7年7月9日（水）までにご回答いただけますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（注）すでにご返信いただいている場合は、行き違いですのでご容赦ください。

皆様の個人に関する情報が公表されることは一切ございませんので、先にお送りしました調査票にご記入の上、ご返送くださるようお願い申し上げます。

また、調査票を紛失されたような場合には、再度お送りしますので、下記までご連絡ください。

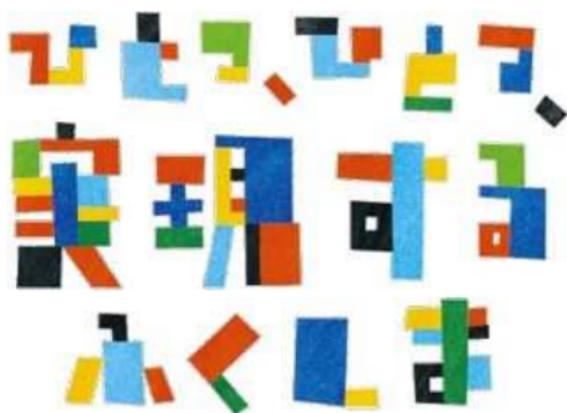
<連絡先>

福島県総務部 県民広聴室

電話 (024) 521-7013

(土曜・日曜及び祝日を除く 8:30~17:15)

郵便はがき



## 令和7年度 福島県政世論調査について

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、過日、県政世論調査票をお送りさせていただき、調査へのご協力をお願いしていたところですが、現在のところ回答書が届いておりません。(既に返信済みの場合には行き違いですので、ご容赦ください。)

県では、より多くの方々の貴重なご意見を県政に反映させていきたいと考えておりますので、回答がお済みでない場合には、令和7年7月23日(水)までに是非ともご回答くださるようお願いいたします。

皆様の個人に関する情報が公表されることは一切ございません。

調査票を紛失されたような場合には、再度お送りしますので、下記までご連絡ください。

<連絡先>

福島県総務部 県民広聴室

電話 (024) 521-7013

(土曜・日曜及び祝日を除く 8:30~17:15)